

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	強度変調放射線治療の線量検証不一致時における不一致原因の判別法開発
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象は、2010年11月から2018年7月に新潟大学医歯学総合病院で前立腺癌の強度変調放射線治療が行われた患者さん10名、及び同期間に頸部の強度変調放射線治療が行われた患者さん9名です。ご自身が対象となっているか否かの確認を希望される場合は、下記お問い合わせ先(⑪)までご連絡ください。 この研究は、過去に本学で実施された研究「機械学習を用いた強度変調放射線治療の線量検証におけるエラーの種類の判別(研究責任者：新潟大学大学院保健学研究科 宇都宮悟)(以下、先行研究)と同じ対象データを用いた、発展的研究です。	
③概要	
強度変調放射線治療(IMRT)では、照射が正確に行われるかどうかを、治療を始める前に確認する事が重要となります。これを線量検証といいます。線量検証の際には、放射線が当たる量をコンピュータで計算した値と実際に測定した値とを比較し、それらの違いが許容範囲内で一致していることを確認しています。検証結果が不一致であった場合には一致するまで調整しますが、放射線治療装置や放射線治療計画装置等に何らかの不一致原因があったとしても、その種類を特定することは難しい場合が多いのが実情です。不一致原因の有無や、どのような種類の不一致原因が発生しているかを特定できれば、強度変調放射線治療の精度の事前確認に活かすことができます。先行研究では機械学習という手法を用いて個別の不一致原因の判別には概ね成功しましたが、多様な不一致原因を一度に分類する方法の開発には至りませんでした。本研究では先行研究とは異なる処理を行った画像を用いることにより、分類精度の向上と、多様な不一致原因を一度に分類する方法の開発を目指します。 ご自身が本研究の対象となることを拒否することができます。その場合、下記お問い合わせ先(⑪)までご連絡ください。拒否することによる不利益は一切ありません。また、この研究では診療目的で行った検査の結果や情報を利用します。この研究のために新たな検査を行うことはありません。	
④申請番号	2026-0072
⑤研究の目的・意義	本研究は、どのような種類の不一致原因が発生しているかを正確に特定する新しい方法を開発して、強度変調放射線治療の精度の事前確認に活かすことを目的としています。本研究によって、強度変調放射線治療が、以前より簡便かつ安全に行う事が出来るようになると期待されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	前立腺IMRT及び頭頸部IMRTの治療計画用に撮影されたCT画像、治療計画情報を解析対象とします。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行った上で研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定で

	きるような情報が公表されることは一切ありません。
⑧利用または提供する情報の項目	前立腺 IMRT 及び頭頸部 IMRT の治療計画用に撮影された CT 画像、治療計画情報
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯保健学研究科 教授 笹本龍太（研究責任者） 准教授 宇都宮悟 新潟大学医学部保健学科 助教 坂井まどか 新潟大学大学院保健学研究科 博士前期課程大学院生 結城想理 共同研究機関：なし
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯保健学研究科 教授 笹本龍太
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学大学院保健学研究科 氏名：笹本龍太 Tel：025-227-0521 E-mail：rsasa@clg.niigata-u.ac.jp